

イベント参加学生の感想

栄養クリニック開設の目的のひとつ、「実践力のある管理栄養士養成のために、在学生在が様々なイベントに参加して、管理栄養士としての資質の向上を図る」という点から、栄養クリニックのイベントに本学食物栄養学科の学生の参加を積極的に受け入れている。大学では社会のニーズに応じた実践力を備えるために、一般の方が健康や栄養に対してどのような考えを持っているか、経済性や個人の嗜好性、人生観などをよく理解し、専門的な用語を使わずに相手にわかりやすく説明する力など、身に付けなければならないことはたくさんある。

栄養クリニックで開催される様々な事業では、実際に管理栄養士が一般の方へ情報発信する姿を見ることが出来る。学生がスタッフと一緒に参加することで、どのような伝え方をすれば伝わりやすいのか、どのような情報に一般の方は興味を示すのかなど自身で課題を見つけ、対象者側に立った目線での食事指導や栄養指導ができるキャリアを身に付けて欲しい。

参加学生の感想

最初はお客様にどのように説明すれば良いか探りながらやっていたのですが、段々言葉を自分なりにアレンジして言えるようになり、自分の言葉で説明する方が相手に伝わりやすいと感じました。繰り返し体験することが大切だと改めて思いました。

(2回生/大学祭における栄養アセスメント体験)

骨密度や体組成の測定方法を、授業で学んだ時以上に理解することができて良かったです。栄養相談を見学させていただき、対象者への質問の仕方や目標の設定方法などの理解が深まりました。

(3回生/大学祭における栄養アセスメント体験)

栄養クリニックのイベントは長時間の活動であるにもかかわらず、学生たちは終始笑顔で積極的な態度で好感が持てる応対ができていた。今後、管理栄養士として携わるさまざまな事業の中で、自ら課題を設定し、企画・立案から実施、評価・課題解決などができる場面に役立つ体験ができたと思われる。特に、栄養相談の知識・技術は大学の授業で学ぶだけでは、不十分であることがわかり、期待以上の収穫であったようである。在学中に栄養クリニックの行事に積極的に参加し、各自の能力を培い、社会のニーズに応えられる実践力を身につける教育の場として今後も栄養クリニックを活用して欲しい。

学生の参加状況

料理教室 (27名)、食withコンテスト (2名)、附小ランチ (500名)、大学祭における栄養アセスメント体験 (29名)、大学地域連携事業高齢者の骨密度測定会 (42名)、中信ビジネスフェア (6名)、栄養講座 (1名) 合計607名 (のべ人数)
(松並晃子)

